

逆小校区スポーツ活動推進協議会 『スポーツクラブ21ゆずり葉』案内・告知板

○逆小テニスクラブ、 新ポスト・ネットを導入

体育館を社会体育で使用しているバレーボールとバドミントンに係る、コート改修の工事と新しいポスト・ネットの購入が昨年度で終了したので、今年度は運動場のコート改修に取り掛かった。テニスコートについては、軽いステンレス製のポストを導入する要望が出ていたが、グラウンドに埋め込まれているポスト立てホール金具の取り替え工事について、宝塚市教育委員会管理部施設課の了承が得られず（既設の物は20年位にテニスクラブが施工?）、結局同課の推奨に従って移動式三点保持型ポストを導入した。またスポーツセンターから払い下げを受けた硬式用のネットが重くて、この型のポストではテンションを掛けた張りが不可能なので、新しく軟式用のネットを購入した。
★逆小テニスクラブへの入団申し込みとゆずり葉少年少女テニス教室への問い合わせは、代表の山口貴代美 72-0050 へ。

○光ガ丘口の 新コースが開設

行者山ハイキングコース光ガ丘口から、東六甲縦走路の岩倉山へ直接登る新しいコースが開通しました。従来から尾根筋を辿る知る人ぞ知るという踏み道はあったのですが、このほど光ガ丘在住の関・古泉両氏を中心に住民の力を合わせ、枝を払い、ステップを切って整備しました。上り・下りともかなりな勾配と砂地の所為で足が滑りやすいのが難点ですが、11月23日に行われた登り初めでは、初心者の方々も慎重に時間を掛けて無事踏破されました。先々は尾根筋を更に自治会館裏まで伸ばしたいと考えています。
(光ガ丘ブロック西澤)



○手ごろなスポーツとしての 卓球が大盛況

昨年の6月23日（土）から開設した逆瀬台小学校体育館でのゆずり葉卓球教室Eコースが盛況で、毎週土曜日の10時から12時まで毎回6台の卓球台を設営し、シングル・クロス・ダブルスとフル回転で打ち合っています。そこで7台目として光ガ丘自治会館で余っている卓球台を移設することになりました。

歴史の古い光ガ丘卓球クラブのほか、一昨年に宝梅園住宅集会所に1台、昨年にはデイサービス2階にファミリータイプを1台設置しました。また逆瀬台1丁目では既にグリーンハイツ集会所に1台あるほか、このほど阪急逆瀬台マンション集会所でも新品を1台購入されましたが、先々他のマンションでももっと増えるのではと思います。

いつの日か逆瀬台小学校区の親善卓球大会を開催できたらいいなと、光ガ丘クラブの小橋元代表が話しておられました。（國司）

○グラウンドに張られている 糸について

野球やサッカーなど運動場を社会体育で使用しているスポーツ団体から要望が出ている、グラウンド上に張り巡らされている周回トラックと直線トラックの糸の撤去について、宝塚市教育委員会管理部施設課で調べて貰ったところ、市内小中学校の半数で行われているようだったのでした。つまり残り半数の学校では起点・終点・折れ点等のマーキングのみで、糸を張り巡らせてはいないということである。同課では各学校の自主性に任された問題だと言っているの、逆瀬台小学校としては今後の課題になる。

ゆずり葉囲碁教室

菊池信一郎先生の講義と、点数制による対局。
80歳から10歳まで賑やかにやっています。



○「スポーツクラブ21のメニュー」一覧表

★問い合わせと入団・参加の申し込みは、それぞれの代表・世話人に直接お願いします。

【団体部会運動場分科会】

○少年野球「逆小ドラゴン」毎週日曜日の午後、杉野代表 73.5530 へ。

○少年サッカー「逆瀬台サッカークラブ」毎週土曜日の午後、池田代表 77.9799 へ。同時に成人サッカー「サカッフェC」、田中代表 77.2514 へ。

○男子ソフトボール「青葉台クラブ」毎週日曜日の早朝、瀬川代表 72.5646 へ。

○女子ソフトボール「逆小ソフトボール愛好会」毎月第1・3・5土曜日の午前、秦代表 71.1288 へ。

○ジュニアテニス「逆小テニスクラブ」毎月第1・3・5土曜日の午前、山口代表 72.0050 へ。

【団体部会体育館分科会】

○「宝塚空手道体育クラブ」毎週日曜日の午前、阿曾代表 72.8431 へ。

○「ひかりバレーボールクラブ」毎週土曜日の午後、渡名喜代表 74.3482 へ。

○「逆瀬台バドミントンクラブ」毎週日曜日の午後、海老原代表 71.7980 へ。

【教習部会・委託運営教室】

○「ゆずり葉少年野球教室」本多世話人 73.9505 へ。校区外からもたくさん参加しています。

○「ゆずり葉少年少女サッカー教室」一条世話人 74.0482 へ。

○「ゆずり葉バレーボール教室」渡名喜世話人 74.3482 へ。

【教習部会・直轄教室（コミュニティルーム）】

○「ゆずり葉囲碁教室」原則として毎週土曜日・毎月一回月・水曜日の午後、岩崎世話人 71.4717 へ。

○「ゆずり葉卓球教室」毎週木・日・火曜日の午後、國司世話人 73.3114 へ。土曜日午前は体育館（別掲参照）

○「ゆずり葉健康カラオケ教室」毎週金曜日の午後、國司世話人 73.3114 へ。

【催事部会】★問い合わせは國司世話人 73.3114 へ。

○「裏山登山・ゆずり葉ピーク散策ハイキング」毎月第1・3日曜日の午前。

○「裏山登山・行者山東観峰登頂ハイキング」毎月第2・4日曜日の午前。

新会則の下で具体的に いかに活動して行くか

十年一昔と言うが、人の世はとかく移ろいやすいもので、創設時は新鮮な組織も十年も経てば制度疲労を起して来る。5ブロックを縦軸に、4部会を横軸にして、役員・委員それぞれが2正面作戦を展開して来たゆずり葉コミュニティも、ここに来て役員・委員の人選難、ブロック代表・部会部長の互選難、会議・会合の出席率の低下と、いろいろ難問続出でいわば曲がり角にきていたと思う。この際思い切って組織改革を行い、新しい観点から活動・運営に取り組むことを、時代が要求しているのかも知れない。

単位自治会（見做し自治会としての管理組合を含む）を構成団体とする逆瀬台小学校区まちづくり協議会（通称・ゆずり葉コミュニティ）は、この先十年を経て見ればいわば住民自治協議会を目指す半公式な組織であったとなるのかも知れない。いつになったら地域交付金制度が具体化するのかわからないが、地方自治・地域自治が時代の趨勢であるからには、我々もそれに備えて組織訓練に入って置くことは必要であると言えよう。

さて、ブロック制・部会制が無くなるかどうかの？ 端的に言えばセクシヨナリズムが消えて活動が自由になる、と言うべきであろう。だれでも、なんでも、いつでも、問題提起をして人々に呼び掛け（本紙やホームページ・ブログを活用しよう）、会合を重ねて（コミュニティルーム・デイサービス地域交流スペース・自治会館・集会所・集会所を活用しよう）、ボランティアの活動グループ・活動サークルや研究会・同好会・クラブなどを立ち上げることが出来る。もちろんコミュニティ・自治会に登録を申請して許可を貰えば、いくばくかの予算配分に与れるかも知れない？ しかしボランティアの原則は、あくまで自立・自弁・自存であることは言うまでもない。

現在東逆瀬台ブロックでは、8年続いている恒例・歳末もちつき大会を継続して行くために、存続継団体として『東逆瀬台広域活動会議（仮称）』を創設・運営しようではないかと検討が進められている。それと近年著しい発生を見ているホタルの里づくりを手始めに、もっと多面的に白瀬

川を調査・研究し、その両岸に健康ウォーキングを兼ねるアミニティロードを創出しよう、先ずは純粋なボランティア・サークルとして『白瀬川両岸活動会議（仮称）』を発足させては、という意見も出ている。

また前頁下段で指摘されているように、今回の改正検討作業では校区自治会協議会が主導したが、マンション街として今後の方向性を検討して行くためにも、情報交換組織としての『逆瀬台小学校区集合住宅管理組合連絡協議会（仮称）』・『フォーラムでもよいか』を創設すべきではないか、という議論もなされた。

4月からただちに発足させるのは『ゆずり葉健康カラオケサロン』で、引き続き社協ふれあいいきいきサロンの指定申請を行う。その他では『ゆずり葉ミニシアター運営委員会』は逆瀬台小学校視聴覚室とも連携し、『ゆずり葉ミニライブラリー運営委員会』は逆瀬台小学校図書室とも連携し、『逆瀬台小学校区裏山開発整備会議（仮称）』はハイキングコース・キャンプサイト開発とルート整備を行い、『逆瀬台小学校区環境井戸端会議（仮称）』は国際政治問題となっている地球温暖化についてささやかなアプローチを試みるなど、種々構想を練っているところである。皆さんのご意見・ご提案を待っている。

（東逆瀬台ブロック・広報部
健康福祉部長 國司恒雄）

「ゆずり葉散策路」の整備活動 四季折々の緑と花づくりを!!



健康福祉部活動に皆さまのご参加を
お待ちしております。

日時 毎月第1金曜日 午前8時
問合先 中村 電話 72-5644